



げんき

NPO法人八王子市体育協会

平成23年5月18日
第40号会報



市町村総合体育大会5連覇達成の市長への報告（平成22年9月2日）



昨年（平成22年）は、まさに猛暑の年でした。そして、クリスマスから今年の年明けの立春の頃までと3月下旬から4月の上旬にかけては、すごい寒さでした。そんな酷暑厳冬の中でも、色々のスポーツ大会が行われております。カナダでの冬季オリンピック、南アフリカでのサッカーのワールドカップ、中国でのアジア大会等々で、我が日本がかなりの好成績を収めたことは記憶に残っている通りです。

再来年の平成25年には東京都で「スポーツ祭東京2013」（通称：東京国体、略称：多摩国体）が開かれ、八王子市は、5つの競技即ちサッカー・体操（競技と新体操）・自転車（ロードレース）・軟式野球・ゴルフ、及び1つの公開競技の高等学校野球（硬式）並びに6つのデモンストレーション即ちインディアカ・グラウンドゴルフ・少林寺拳法・ターゲットゴルフ・ネオテニス・ブランドサッカーの会場を受け持つことになります。すでに国体開催の準備として、東京都からの予算交付による、ジュニア育成地域推進事業が実施2年目を迎えて、八王子市体育協会では13競技団体がジュニア等の強化を実施しました。3年目の平成23年度も同数の競技団体がジュニア育成事業を実施します。

中近東やアフリカの幾つかの国では、政治的・経済的独立や自由を勝ち取る為の戦いをしながらスポーツに取り組まなければならないと言う環境にあることを考えれば、十分ではなくとも予算の後押しを受けてスポーツに取り組める我々は恵まれていると言わなければなりません。また、マグニチュード9の巨大地震「東日本大震災」の被災者の方々が、生活を立て直して、スポーツに取り組めるようになるまでには、大変なご苦労があるとお察し致します。それを考えれば、十分とは言えない予算でも、それに応えて、成果をあげる為に最大限の努力をしなければならないのは当然です。いざれにせよ「与えられた環境の中でベストを尽くす」のはアスリートとしても一般社会人としても当たり前のことで、言うまでもないのですが、言うのは簡単でも実行するのはなかなか難しいものです。

ハイスピードで高齢化していく日本を世界の国々が注目していますから、我々は高齢になつても寝込まずに、元気で長生きする日本人が沢山いることを何とか証明したいのです。更に、高齢者が元気でスポーツを楽しむ日本の八王子市を見せてあげたい！勿論、競技で素晴らしい記録を出したいです。東京都市町村総合体育大会で6連覇を実現したいです。しかしそれだけでなく、元気な高齢者が大勢スポーツを楽しんでいるのを見せるのも良いのじゃないですか！「どうしたらそれが実現するか？」と言うことに具体的に取り組む時期ではないでしょうか？体と共に頭を鍛えて難題に取り組んで行きましょう！ボケ防止の一助にもなります。

そんな年にしたいのですが如何でしょうか？

そんな年にしませんか？

NPO法人八王子市体育協会
会長 澤本 則男

大会愛称

スポーツ祭東京2013

大会愛称・マスコットキャラクター

スローガン

「東京に 多摩に 島々に 羽ばたけアスリート」

マスコットキャラクター

愛称「ゆりーと」

「ゆりーと」は、都民の鳥「ゆりかもめ」がモチーフです。「アスリート」や多くの人々が、東京都を舞台に、夢と目標に向かって羽ばたいていくよう、スポーツ祭東京2013を応援します。



※第68回国民大会標章等無償使用取扱規程の第3条の2の(2)国、地方公共団体、都内各市町村体育協会及び都内各競技団体が使用するときは無償使用許可の申請等は不要。

が決まりました。

八王子市開催競技・競技場（正式競技・公開競技）

◆八王子市開催競技会期◆			平成25年(2013年)										
			9月		10月								
			28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8
			土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
競技名	種別	会場											
サッカー	女子	八王子上柚木公園 陸上競技場			○	○							
体操	競技	全種別					○	○	○	○			
	新体操	少年女子			○	○							
自転車 (ロードレース)	成年男子 少年男子	特設ロードレースコース		○									
軟式野球	成年男子	八王子市民球場					○	○	○				
ゴルフ	成年男子	八王子カントリークラブ			○	○							
	女子	GMG八王子ゴルフ場			○	○							
	少年男子	武蔵野ゴルフクラブ			○	○							
高等学校 野球(硬式)	少年男子	八王子市民球場		○	○	○	○	○					

※第68回国民体育大会では、正式競技・都道府県対抗の天皇杯・皇后杯対象競技と公開競技の合計40競技を実施。八王子市は、正式競技のサッカー、女子体操、自転車(ロードレース)、軟式野球、ゴルフの5競技と、公開競技の高等学校野球(硬式)を開催します。(八王子市ホームページを引用)

式を開催します。なお、サッカーは調布市・清瀬市、白の出町、自転車(ロードレース)はあきる野市・檜原村・奥多摩町、軟式野球は立川市・府中市・昭島市・町田市・稲城市と共同で開催します。

※印は八王子開催日です。事前に公式練習等が指定される競技があります。
※サッカー(女子)の競技種別会期は、平成25年9月30日から10月3日までです。
※軟式野球の競技種別会期は平成25年10月4日から10月7日までです。

実行委員会の名称は「スポーツ祭東京2013八王子市実行委員会」に決定。3年後に迫った国体の開催に向け、本格的なスタートを切りました。

八体協の取り組み



スポーツ祭東京2013八王子市実行委員会組織図

平成22年8月23日設立

◎田中理事、長谷川理事、
庄司理事、高橋理事)
・競技運営計画、開始式・
表彰式計画、競技施設整備計画等を担当します。

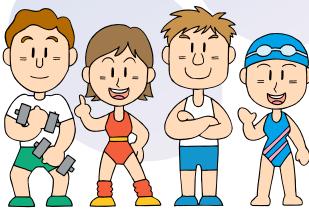
◎澤邊常務理事、小泉理事)
・輸送計画、交通、消防防災、警備等を担当します。

◎本橋専務理事、鈴木理事)
・総合計画、広報計画等を担当します。

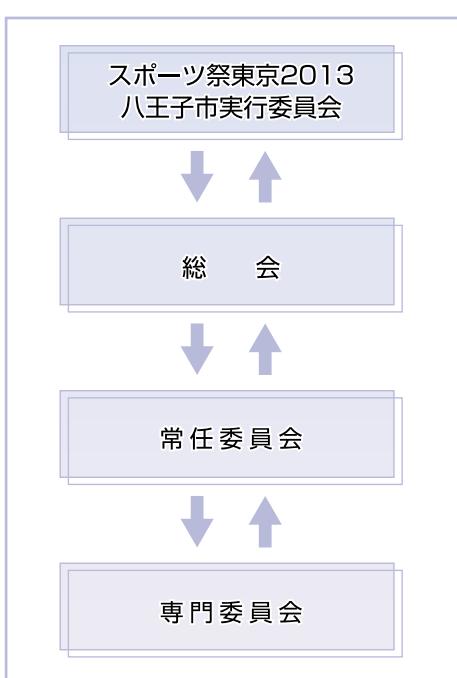
◎植松常務理事、小泉理事)
・輸送計画、交通、消防防災、警備等を担当します。

◎田中理事、長谷川理事、
庄司理事、高橋理事)

・競技式典専門委員会



各委員会へは次のとおり
八体協から役員を派遣しています。◎は各委員会の委員長



顧問	名誉会長	会長	副会長	理事	専務理事	常務理事	会計理事	監事	運営委員
萩生田光一	黒須 隆一	八王子市長	澤本 則男	立川富美代	林 泰男	本橋 弘	植松日出男	林 澤辺喜美枝	山口 章
(八王子市長)	(八王子市長)	(八王子市長)	(空手道)	(学識)	(バレーボール)	(ボウリング)	(卓球)	(水泳)	(サイクリング)
栗原 一雄	梅澤 清治	橋本 明	橋本 幸	齋藤 勝彦	金山 梅澤	橋本 一雄	栗原 一雄	岩崎 勝彦	柴田 昭臣
(自転車競技)	(陸上競技)	(スキー)	(剣道)	(弓道)	(陸上競技)	(剣道)	(スキー)	(陸上競技)	(山岳)
梅澤	橋本	栗原	橋本	齋藤	金山	橋本	栗原	岩崎	中村 芳男
橋本	幸	梅澤	幸	梅澤	橋本	幸	栗原	橋本	中村
自転車競技	自転車競技	陸上競技	剣道	スキー	スキー	剣道	スキー	陸上競技	ソフトボール
(3月31日現在)									

平成22年度役員紹介

〔敬称略・順不同〕

2月	1月	平成24年	10月30日	9月4日	7月23日	5月18日	5月15日	5月8日
大会協力	第62回全関東 夢街道駅伝競走	八体協新年会	ふれあい運動会 役員協力	第65回八王子市民 体育大会開会式	第45回市町村総合 体育大会開会式	八体協定期総会	11健康フェスタ開催	第64回都民体育大会 開会式

※その他ジユニア育成事業を
計画、実施する予定

體協日誌

平成22年4月3日 平成23年4月

5月9日(日)、10時から駒沢オリンピック公園体育館にて、第63回都民体育大会春季大会の開会式が挙行されました。役員の参加は、澤本会長以下20名で、次の役員の方々です。

藤井弘(野球連盟)、岩崎恭久(卓球連盟)、栗原清治(クレー射撃連盟)、橋本一雄(剣道連盟)、島崎幸(自転車競技連盟)、山口章(サイクリング協会)、澤辺喜美枝(水泳連盟)、鈴木英雄(水泳連盟)、林泰男(バーレーボール連盟)、森本仁(居合道連盟)、西島秀一(サッカー協会)、小笛勝司(バドミントン連盟)、細野利昭(乗馬連盟)、長谷川仁(アーチェリー協会)、田中定一(体操連盟)、藤川孝予(体操連盟)、栗田正樹(フェンシング協会)、高橋健司(少林寺拳法連盟)、石井康雄(テニス連盟)、本橋弘(ボウリング連盟)。

例年どおり、前年度優勝旗の返還が行われたのち、馬術競技と駢伝競技男子の部の優勝旗返還があり、東京都から社会体育優良団体は山岳連盟が表彰を受けました。大会は、都内54地区・選手・監督総数15,252人が参加し、本市から選手団404名がエントリー。馬術競技が3連覇を果たし、男子卓球競技が3位、女子バスケットボールが3位、女子ソフトボールが3位、駢伝競技が4位の成績であった。公開競技では少林寺3位女子アーチェリー3位。

男子が総合で12位、女子が14位でした。(昨年度男子11位、女子10位)

平成22年度八体協の講演会「心をつかむ話し方」をテーマに、村松貴子さん（元ＮＨＫキャスター／エッセイスト）を講師として招き、午後6時30分から八王子市生涯学習センター（クリエイトホール）で開催しました。

村松講師は、八王子市の出身で、ＮＨＫラジオ「ＮＨＫジャーナル」、ＮＨＫテレビ「イブニングネットワーク」のキャスター、そして「きょうの料理」の司会を務めるなど活躍されました。

八体協では、多くのスポーツ指導者が、日々からそれぞれのスポーツ指導の現場においてその考え方や練習方法などを言葉で表現し、正確に伝えることはたいへん苦労しているのではないかと思います。

今回、「指導したいことが指導する相手に正しく伝わり、期待通りの成果が上がる話し方」、このテーマで話し方を学ぶため、八体協のスポーツ指導者を対象者に実施しました。

開演前から続々と受講者が集まり、会場は多くの指導者たちでほぼ満席でした。

村松講師のテンポの良い話し方、わかりやすい内容、そして講師自ら降壇して受講者たちに近づき、受講者を舞台に登壇させ、早口言葉を巧みに指導していくなど、講演会は和やかなうちに進みました。私たち受講者の心はひとつという間につかまれてしまい、話にどんどんひきこまれていく気がしました。参加者は129名。みなさん時間が過ぎるのを忘れてしまったのではないかでしょうか。

今回の講演会を通じて、指導者としてだけではなく、一社会人としても人とのコミュニケーションを図るにはどのようにするのかという基本的なことを再確認する機会ができたと思います。ぜひ今後の指導に活かしていくつてほしいと思います。

平成22年9月5日(日)、第64回を迎える市民体育大会開会式を開催した。気象観測記録を塗り替えるほど厳しい猛暑は、9月に入つても衰えることはなく、当日も最高気温34.1度と、まさに「酷暑」というべき状況の中、会場である市民体育館メインアリーナには約1,313人名の選手・役員が一堂に会し、会場内は早朝の「暑さ」に加え、選手各位の「熱さ」に包まれた。

高橋理事の司会進行のもと、各団体が紹介される。今回より競技参加人数を読み上げる中で、1,000名を超える団体には注目が集まる。スポーツ少年団を含む37団体、21,790名の紹介の次は林泰男副会長の開式通告とプログラムが進行した。

澤本則男会長の挨拶を皮切りに、来賓の皆様の祝辞では、新体育館・多摩国体と、今後私たちスポーツ関係者・愛好者が一致団結して実現に向け取り組んでいかなければならぬい事柄について激励をいただき、待ち遠しくも、身の引き締まる思いの中、拝聴した。

このほか式典の中では、2度目となる東京都市町村総合体育大会の5連覇について報告が行われ、史上初の6連覇に向けた強い意志を確認した。

その後、体育協会表彰へと続く。オール東京・そして全国大会での活躍は、八王子市の誇り。表彰者に対し、盛大かつ惜しみない拍手が送られた。

そして、恒例の演技披露。カラフルな衣装をまとい登場したのはダンススポーツ連盟の皆さん。会場内は華やいだ雰囲気に包まれた。

立川富美代副会長の力強い閉式通告により、参加者は各競技での健闘を誓い合い、盛会のうちに終了した。

平成23年1月19日(水)、恒久的の平成22年度八体協新年会が八王子エルシイにて開催され、今回の参加者は213名。毎年参加者記録が更新され、団結強さがうかがえる。

お馴染みの本橋専務理事の会により、会は進行する。澤本長の冒頭挨拶や、黒須八王子スポーツ人口が増え続けることの喜び、スポーツを通じた青年の健全育成と、スポーツがたらす素晴らしい効果や、新体育館や戸吹スポーツ公園など各施設の充実により本市をスポーツのメッカに、とのお話をいだき、多くの参加者がそれに傾き、熱い拍手を送るなど、和やかなうちにも熱い意気に入れた光景であった。

さて、祝宴が開始されると、仲間の声も消してしまって、会場全体は談笑に包まれる。また、着席スタイルに変更して以来、毎年各団体の配置を輪番で調査しているため、新たな交流も生まれる。何といっても同じ「八王子スポーツ人」。競技・団体を通して情報交換が、時間を忘れるほどに続くのがこの会の定番。来年は、是非もう一人誘つて、楽しさを広げ、共有しませんか?

平成23年2月13日、14日に山梨県石和の「ホテルやまなみ」で平成22年度東京都市町村体育関係者幹部研修会が開催された。八体協からは澤本会長と本橋専務理事の2名が参加した。

東京都市町村体育協会連合会は、多摩地域におけるスポーツの振興と普及発展を図るとともに各競技団体間との情報交換や研修会などを通じて加盟地域体育協会の組織拡大及び円滑な運営を図っていくことを目的としている。

研修会では、東京都国体・障害者スポーツ大会推進部の部長・課長、東京都スポーツ事業部の部長・課長がそれぞれ平成25年9月28日（土）から10月8日（火）まで開催する第68回東京国体・多摩国体の今後の開催スケジュールについて及び平成25年10月12日（土）から10月14日（月）まで開催する第13回全国障害者スポーツ大会の講演を行った。統いて国体の準備状況について、あきる野市・三鷹市・国立市から事例発表が行われ、おりに参加者が情報交換を活発に行い、2日間の研修会が終了した。

村松真貴子氏 講演会

第64回市民体育大会開会式

第22度新年会



君こそ主役だ！ Team Tokyo 2013 東京国体



ジュニア育成地域推進事業 「**目標せ国体選手!**」 <実施内容一覧>

平成18年度より実施されておりますジュニア育成地域推進事業も5年を経過、今年も13団体15事業が展開されました。今年の参加人数は小学生1528名、中学生746名、高校生749名、合計延べ2623名のジュニアが参加し、盛況裡に終わることができました。ひと言に各団体の事業推進者の努力を貢献ごとが大きく感謝致しました。
来る平成23年度も12団体15事業が予定されており、多くのジュニアが育ちつつありますのでご期待ください。

連盟だより



昨年、11月23日(祝)に行われた「秋季クラブ対抗戦」の事でした。大会当日は昨晩の雨が朝まで残り大会が危ぶまれた。雨を心配しながらコートに入るところ葉はなく、管理人さんが雨降る中コート整備をしていたので御礼の挨拶に出向いた。朝早くから、からの管理人さんのご好意により雨も上がり無事大会を開催できました事、偏に管理人さんのお陰であります。感謝の一言に尽きます。

体育協会がスポーツ活動の環境を良くするためには、各体育団体の実績をあげる事と行政にアピールする事は必要不可欠と思考致します。当連盟も普及活動はもとより、テニス技術の向上に努力する所存であります。

最初の五連覇が途絶えた第40回大会では、順延のソフトテニスを除いては町田市が1位、7月29日の八王子市花火大会の当日ソフトテニス男女はアベック優勝をし、八王子市に貢献ができ2回目の五連覇スタートとなつた事を自負している次第です。

一方の戦績ですが、市町村総合体育大会での八王子市五連覇にソフテニスの男女は大きく貢献しています。

部で東京都が3年連続優勝したノンバーを招致して平成25年東京国体の参加選手を是非養成したいと考えています。

なっていますので、八王子市立第三中学校卒業生の日本ソフトテニス連盟元ナショナルチームのコートを招き、更に昨年の国体女子の

今年も中学生を対象にジュニア講習会を開催しますが、今回は東京ジュニア育成推進事業の対象と

A wide-angle photograph capturing a large assembly of students on a sports field. The students are arranged in several long, narrow lines that stretch across the frame. They are dressed in various school uniforms, including white shirts with blue lettering and dark trousers. In the background, there's a chain-link fence, some bare trees, and a tall metal pole with a light fixture. The sky above is a bright, clear blue.

◆八王子市ソフトテニス連盟

連 盟 だ より

◆八王子市卓球連盟

八王子市卓球連盟は、昨年、創立65周年を迎えた。この65年の歴史を振り返るとき、その設立の当初から変わらぬ情熱と行動力で現在の卓球連盟の礎を築いてこられた、故・渡部繁治（元常任顧問）無しでは、語ることが出来ない。

渡部氏の話によれば、かつてはリヤカーに卓球台を乗せて会場に運び大会運営を行つたことや戦後間もなく開始し、平成13年に第100回を数えた、甲府市との親善交流卓球大会も、当初は機関車に揺られ配給のお米をお互いに持ち寄り、大会後の交流を深めたことなど、今では考えられない環境の中で先人たちの情熱とご努力により支えられて来たことに、改めて感銘を受けたところである。

このような先人達のご努力の結果、現在、八王子市卓球連盟は会員数、約700名、家庭婦人の大会を含めると年間19本の大会を開催するに至っている。登録チームを見てみると、かつては若手のチームが少なかつたが、最近では福原愛選手や石川佳純選手等の活躍により卓球ファンが増え、中高生のみならず、高校のOBチームや大学生のチームの参加もあり、活気を呈している。また、各種大会においては、団体によるクラス別のリーグ戦が最も人気が高く、年2回、前期・後期の開催であるが、男子13ブロック、女子9ブロックの22ブロック、500人を超える選手により熱戦が繰り広げられる。加えて、シニア層の卓球熱も高まつており、一昨年からは、シニアチームによるリーグ戦もスタートしたところである。

卓球は、誰でも気軽に参加す

◆八王子スキー連盟

八王子スキー連盟では、基礎スキー講座やテクニカルレッスン、技術選手権大会、さらに市民競技大会やジュニアレーシング（ジュニア育成地域推進事業などの事業を運営しています。

今回はジュニアスキー教室を紹介いたします。参加資格は小学校4年から中学3年まで、日程は3泊4日、会場は長野県磐梯高原スキー場、定員は40人、事前説明会も実施しています。桜の開花が始まる春休みに出発しますが、この2年間は2月並みの寒さで、毎朝一面は新雪で初心者もあつという間に滑れるようになりました。

このスキー教室の特徴は、安全でジュニア向けの技術指導と3日間たっぷりと滑ることです。専用ボールバーンを1日貸し切り、ボール練習で運動要領の基本が学べます。指導員の指導のもとで1日5時間、上級班はそれ以上たっぷり滑れます。規則正しい生活ができ、自分ことは自分でやることで自立心が育ちます。一緒にスキーをすることで新しい友達も作れます。行事が終わって親元に戻るときにはひとまわり大きく成長しています。

ただ指導員にとつて、昼の実技指導のほか夜の班別ミーティング、深夜の就寝指導（部屋の巡回）も正直言つてつらいもので、熱心で献身的な指導員によつています。

◆八王子市少林寺拳法連盟

◆八王子スキー連盟

ることがができるスポーツとして親しまれてきたが、今後も更に多世代の方々に親しんでいただきけるよう、選手の育成はもとより生涯スポーツとしての普及にも先人の心意気を受け継ぎ、役員一同、力を合わせて努力していく所存である。

この行事は成り立っているのです。
最後に子どもたちの感想を紹介します。「しつかり基礎から習えてすごく良かつたと思います。頂上までいけたのは良かつたけど下まで降りるだけで精一杯だったから大変だつた。」、「コ一チが何回も同じことを言っていて『何で何回も言つているんだろう』と最初思つたけど、実際に入滑つてそれが大事なことがわかり『なるほど』と思つた。」



編集後記

昨年のこの欄で書いた民主党新政権がバタバタし始めているが大丈夫だろうか?「巨大地震→津波→東電福島原発の対応の不手際→節電→市関連施設の夜間使用の自粛」と言う形で我々に響いて来るとは想定外。まるで「風が吹くと桶屋が儲かる」式の話に近いと言う喻えは不謹慎だろうか?加えて、「練習は出来なくとも高成績は期待している」と言う落ちまでついていれば返す言葉は荒くなるのは仕方がない。
JR八王子駅南口に41階建てのザザン・スカイ・タワー・レジデンスが年末に完成。都心には634mの電波塔「スカイツリー」が来年完成するが、地震の時は怖いだらうな?とは買えない者のひがみだらうか?でも、上の方に住むとエレベーターが止まつて階段を歩いて上がるのはしんどいと思う。一番良いのは地震がないことだが:地震と言えば、会報作成3年目だがまだ自信はない。

公園（3か所）をはじめ、八王子駅南口に「ふれあいベンチ」を贈るなど、「半ば（なかば）は自己の幸せを半ばは他人（ひと）の幸せを」という少林寺拳法の基本理念に即した活動を実践しています。

今年は開祖生誕100年。より強い団結力で開祖の志を引き継ぐとともに、平成25年、多摩国体での、本市におけるデモンストレーション競技の成功に向け、努力してまいります。

【連絡先】

○日一一七七一一〇八〇
△X
○四一一一六六七一一七七七
ZPO法人八王予市体育協会
<http://www.8taikyo.com>